

# 地域の魅力を伝える賑わい創出イベント実例集

- 。 スカイツリーを眺める深川&亀戸めぐり  
船旅ツアーのプロモーション支援



# きもの百人\*雛の会

in 神楽坂

2008年3月2日

東京都の観光人材育成事業\*観光プランナー塾で知り合った神楽坂有志との連携による神楽坂を舞台に、毘沙門天での講談&薩摩琵琶、投扇興の演目の他、毘沙門天から赤城神社までをお練りを決行。

話題となり朝日新聞に掲載。

その後地元の定番イベント「街とびフェスタ」でのきもの百人 神楽坂として定期開催となる。

色とりどりの着物姿で神楽坂を練り歩く参加者たち 11日午後、新宿区神楽坂で



神楽坂の街並みに着物の情緒 50人が「お練り」

2日、新宿区神楽坂で、きもの姿で町を歩き、石畳や黒塀が残る日本らしい街並みのよさを知ってもらおうとするイベント「神楽坂お練り」があった。地元の有志などで結成した「きもの百人の会」が企画し

た。  
正午過ぎに、着物姿の男女約50人が毘沙門天をスタートし、神楽坂通りを歩いて赤城神社までを往復した。  
ブログなどで参加者を募った。

# 江戸しぐさ \* 深川三昧

in 深川

2009年6月20日

NPO法人江戸しぐさ & 本所深川との連携による  
江戸塾実行委員会として、「歩く、学ぶ、食べる」を  
楽しむ深川地域活性化イベントを開催。

深川界隈の街歩きの後、富岡八幡宮の婚儀殿にて

江戸しぐさ越川禮子さんの講演、

その後作家山本一力さんの作品「銀しゃり」のモデルに

なった三ツ木新吉さんの江戸再現すしを味わう。

深川での賑わい創出のための話題づくりを支援。

## 深川で「歩く、学ぶ、食べる」

江戸文化が花を咲かせた江東区深川を散策し、江戸前のすしに舌鼓を打つ。江戸文化の継承に取り組む江戸塾実行委員会が20日、深川で「歩く、学ぶ、食べる」を満喫するイベント「江戸しぐさ 深川三昧」を開催する。15日まで参加者を募集している。

### 江戸塾実行委が 20日にイベント

のまちづくりを考える「江戸前21本舗」の3団体で結成したばかり。今回のイベントは活動の第一歩。当日は1時間半にわたり、芭蕉記念館や深川江戸資料館、富岡八幡宮を散策。江戸しぐさを研究する越川禮子さんの講演を聴いた後は、作家の山本一力さんの作品「銀しゃり」のモデル、三ツ木新吉さんが握る江戸前すしを味わう。ネタに火を通していただくのが特徴だ。

### 15日まで参加者募集

委員会事務局の吉田雅子さんは「すれ違う時は傘をよけ合うようなすてきな仕草が『江戸しぐさ』。江戸文化の素晴らしさを伝えたい」と話す。

参加希望者は、名前▽連絡先▽生年月日を記載し、事務局にファクス(03・62240・2246)する。費用は5000円。締め切りは15日。問い合わせは吉田さん090・2206・0240(午前9時～午後8時)へ。【馬場直子】

# 山本一力と江戸前の世界

in 深川 清澄庭園

東京の観光まちづくりによる地域活性化を目的に、地域連携を推進するため申請中であったNPO法人が2009年9月

11日に正式に認可され、設立事業として

「山本一力と江戸前の世界」を11月1日に開催。

東京観光まちづくりのNPO法人江戸前21が誕生！

100人を超える参加者で多いに賑わった。

その後も継続して、深川地域活性化を目指す地元NPO法

人本所深川との連携体制をはかり、新たな地域活性化

イベント『深川紅葉祭り』、『深川芭蕉祭り』の

プロモーション支援を続けている。



# 平成忠臣蔵

in 深川～両国～金杉橋～泉岳寺

2010年1月30日 \*旧暦で毎年開催

江東区、墨田区、港区3区の後援による、

東京の地域連携プログラム「平成忠臣蔵」を開催。

東京都の協力もあり、両国の船着き場～金杉橋までを屋形船が初めて運行し、忠臣蔵テーマを3区連携の水辺で

つなぐ新たな旅が実現した。

各地域の観光ガイドがリレー形式でつなぎ、船中では国立劇場プロデューサー大木氏のお話とともに、各地域の

忠臣蔵名物土産を堪能。平成忠臣蔵掛紙限定の船橋屋

くず餅の試食&販売も話題に！

## 忠臣蔵巡る水辺の旅

30日、江東区のNPO企画



参加を呼びかける石山さんと、船からNPOのメンバー—東京都港区で

忠臣蔵の舞台をめぐり、十二月の討ち入り後、船旅はいかがい。町両国の吉良邸から頼田おこしに取り組む特定川沿いを南に下り、泉非営利活動法人(NP 岳寺までの道のりを歩O法人)「江戸前21」いた。船を使って引き(東京都江東区)が、掲げる計画もあったと。今日二十日に赤穂四十の説があることから、七十討ち入りの舞台と両国の船着き場から乗なった墨田区の両国か船し、港区の金杉橋まら、浪士の墓がある。の約六の船旅が企港区の泉岳寺付近まで。乗船前に吉良邸跡や屋形船で巡るツアー。乗船前に吉良邸跡やを企画、参加者を募っ。同向院をめぐるほか、下船後は泉岳寺まで散浪士らは一七〇二年。それぞれ地元の方

### 屋形船で両国から泉岳寺まで

イトが案内する。船上では国立劇場のプロデューサー大木氏さんが忠臣蔵の魅力を紹介。浪士が休息に立ち寄った際に振る舞われたと伝わる、江東区のちくま味噌製造の甘酒も配られる。事務局長の石山恒子さん(右)は「忠臣蔵と水辺を合言葉に、墨田、江東、港の三区を結ぶことができた。忠臣蔵の魅力を感じながら船からの景色を楽しんでほしい」と話している。参加費二千八百円。申し込みは二十一日締め切り。問い合わせは江戸前21 電話03(3401)5864。

小	船	平	床	長	并	時
マダイ	アマ	タイ	アオリ	コ		
★カサゴ	★小	★カサ	★カサ	★カサ	★カサ	★カサ
★カサ	★カサ	★カサ	★カサ	★カサ	★カサ	★カサ

# 江戸型紙活用ものづくりPJ

3万点の型紙を保有

江戸浴衣 染元 高常さんとの連携

2010年11月5日・6日\*プロジェクト始動!

赤坂サカスで開催された「港区ものづくり商業観光フェア」にて、地域の謂れを伝える『謂れ手拭い』が誕生。

同時に新たな観光地の交通手段:海外観光地で活躍する

セグウェイの体験プログラムを

日本大学理工学部と連携して実施。

その際の手拭い販売売上金で、『赤坂透かし鍔』に通ずる型紙を復活させ、赤坂・江戸の謂れを伝える観光土産

の商品企画化を継続して進めている。

まもなく江戸型紙行灯デビューの予定

